Informatica® Corporation Cloud Data Integration October 2022 コネクタのリリースノート

© 著作権 Informatica LLC 2022

2022 年 10 月向けにリリースされたコネクタ 1
Amazon Redshift V2 コネクタ 2
Amazon S3 V2 コネクタ 3
Microsoft Azure Synapse SQL コネクタ 3
Microsoft SQL Server コネクタ 4
SAP テーブルコネクタ 4
Snowflake Data Cloud Connector 4
Informatica グローバルカスタマサポート 5

データ統合コネクタの修正済みおよび既知の問題の詳細については、*データ統合コネクタのリリースノート*を参照してください。リリースノートに関しては、次のガイドラインを考慮します。

- コネクタの既知の問題は、現在のリリースでコネクタが更新されていない場合でも、リリースノートに記載されています。
- コネクタに注目すべき既知の問題や修正済みの問題がない場合は、リリースノートには記載されていません。
- 各問題の説明に含まれる（年月）の値は、問題が修正または報告されたリリースを示しています。

データ統合の問題の詳細については、*データ統合のリリースノート*を参照してください。新機能と改善点については、*「更新情報」*を参照してください。

2022 年 10 月向けにリリースされたコネクタ

2022 年 10 月リリースでは、次のコネクタがリリースされています。

Amazon Redshift V2 コネクタ
Amazon S3 V2 コネクタ
Microsoft Azure Cosmos DB SQL API コネクタ
Microsoft Azure Data Lake Storage Gen2 コネクタ
Microsoft Azure Synapse SQL コネクタ
Microsoft SQL Server コネクタ
REST V2 コネクタ

Salesforce コネクタ
SAP テーブルコネクタ

Amazon Redshift V2 コネクタ

修正済みの問題

以下の表に、修正済みの問題を示します。

CR	説明
CLDDI-14710	Amazon Redshift テーブルのデータプレビューで、時間カラムが部分的に表示されます。(2022 年 10 月)
CCORE-1451	Amazon Redshift ソースの Time データ型カラムにフィルタを指定すると、マッピングが次のエラーで失敗します。 エラー: 式[col_time=04:05:06]に次のエラー[<<PM 解析のエラー>> syntax error ... col_time=04:05<<<<:06]が含まれています。 (2022 年 10 月)
CCORE-1352	ステージングパフォーマンスを向上するために Secure Agent のステージングプロパティを設定すると、行サイズが 65536 バイトを超える、Amazon Redshift V2 ターゲットを使用したマッピングが処理されません。(2022 年 10 月)

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CCORE-1467	読み取り操作のステージングパフォーマンスを向上するためのステージングプロパティを有効にしてから、Amazon Redshift V2 マッピングを実行して複数のソースオブジェクトから読み取ると、データがターゲットに正しく書き込まれません。(2022 年 10 月)。
CCORE-1462	読み取り操作のステージングパフォーマンスを向上するためのステージングプロパティを有効にしてから、マッピングを実行して CR 文字または LF 文字を含むソースから複数行のデータを読み取ると、カラムデータが複数行に分割されます。(2022 年 10 月)
CCON-49100	Amazon Redshift V2 マッピングで単純なフィルタを設定し、Amazon Redshift のソースとターゲットが異なるクラスタにある場合、プッシュダウンの最適化は失敗しますが、マッピングタスクは成功します。 回避策: 完全なプッシュダウンの最適化が有効になっているタスクを実行するときは、詳細フィルタを使用します。(2022 年 10 月)

Amazon S3 V2 コネクタ

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CCON-49065	長さが 80 を超える Amazon S3 ソースフィールドから読み取ると、マッピングが実行時に失敗します。 回避策: ソースデータを 80 文字未満で入力します。(2022 年 10 月)

Microsoft Azure Synapse SQL コネクタ

修正済みの問題

以下の表に、修正済みの問題を示します。

CR	説明
CCON-45305	未接続のルックアップの:LKP 式に関数が含まれている場合、マッピングが SQL コンパイルエラーで失敗します。(2022 年 10 月)

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CCORE-1591	Microsoft Azure Synapse SQL ソースから読み取るマッピングでステージングプロパティを有効にすると、空の文字列がターゲットで NULL として書き込まれます。(2022 年 10 月)
CCORE-1524	Microsoft Azure Synapse SQL ソースから複数のオブジェクトを読み取るマッピングでステージングプロパティを有効にすると、マッピングは次のエラーで失敗します。 `[FATAL] エラー: HdfsBridge::recordReaderFillBuffer - レコードリーダーバッファのフィル中に予期しないエラーが発生しました: HadoopExecutionException: カラム[6]は NULL にできず、USE_DEFAULT_VALUE は false です` (2022 年 10 月)

Microsoft SQL Server コネクタ

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CLDDI-16124	実行時に Microsoft SQL Server のターゲットオブジェクトを作成し、ターゲットオブジェクトのスキーマ名にドット文字が含まれていると、マッピングが失敗します。(2022 年 10 月)

SAP テーブルコネクタ

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CLDDI-15726	[**マップレット** - SAP IDoc] を使用して IDoc メタデータを SAP IDoc マップレットにインポートすると、親 IDoc セグメントは、関連する子 IDoc セグメントを選択しても、自動的には選択されません。 回避策: 親 IDoc セグメントを選択します。(2022 年 10 月)

Snowflake Data Cloud Connector

既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CCON-50839	プッシュダウンの最適化が有効になっているマッピングで、TO_CHAR 関数を介して NULL 値を渡すと、マッピングが失敗します。(2022 年 9 月)
CCON-47489	プッシュダウンの最適化が有効になっているマッピングで、Long データ型または Double データ型のフィールドを String データ型にマッピングすると、マッピングは次のエラーで失敗します: `java.lang.Long` は `java.lang.String` にキャストできません (2022 年 9 月)
CCON-45305	式トランスフォーメーションから未接続のルックアップトランスフォーメーションへの入力として関数が使用されるプッシュダウンの最適化が有効になっているタスクが、SQL コンパイルエラーで失敗します。 回避策: 関数を式トランスフォーメーションの出力ポートとして定義してから、その出力ポートを未接続のルックアップ式で使用します。(2022 年 7 月)

CR	説明
CCORE-1165	データ依存条件の式に特殊文字が含まれている場合、エージェントはデータ依存条件の検証に失敗しますが、エラスティックマッピングは正常に実行されます。(2021 年 10 月)
CBDM-18562	データ依存の DD_REJECT 操作の［更新カラム］フィールドを選択しなかった場合、エラスティックマッピングが Spark 検証エラーで失敗します。(2021 年 10 月)
CBDM-15502	エラスティックマッピングのターゲットトランスフォーメーションで選択した更新カラムに定義された最大長が含まれている場合、タスクは失敗します。(2021 年 10 月)

サードパーティの既知の問題

次の表に、既知の問題を示します。

CR	説明
CCON-50285	Snowflake プライベートリンク URL を使用して Snowflake に接続すると、接続は次のエラーで失敗します。 `SF_Conn のテスト接続に失敗しました。JDBC ドライバで通信エラーが発生しました。メッセージ: HTTP 要求で例外が発生しました: infa-cndln.us-east-1.privatelink.snowflakecomputing.com: 名前またはサービスが不明です。` (2022 年 9 月) Snowflake のチケット番号: 00404758 回避策: Snowflake プライベートリンク URL のアンダースコア「_」をハイフン「-」に置き換え、DNS エントリを更新して Snowflake プライベートリンク URL を解決し、トラフィックをプライベートエンドポイントのプライベート IP アドレスに転送します。 例えば、次の Snowflake プライベートリンク URL では、infa_cndln.us-east-1.privatelink.snowflakecomputing.com を infa-cndln.us-east-1.privatelink.snowflakecomputing.com.に変更する必要があります。

Informatica グローバルカスタマサポート

電話またはオンラインでカスタマサポートセンターに連絡できます。

オンラインサポートについては、Informatica Intelligent Cloud Services の［**サポート要求の送信**］をクリックしてください。またオンラインサポートを使用して問題を記録することもできます。オンラインサポートを利用するには、ログインが必要です。https://network.informatica.com/welcome でログイン要求できます。

Informatica グローバルカスタマサポートの電話番号は、Informatica の Web サイト https://www.informatica.com/services-and-training/support-services/contact-us.html に掲載されています。